

純米酒のコーシャフード認証取得で 海外戦略を強化して世界の日本酒へ

課題

国内消費が減少するなか 海外比率を高めていきたい

秋田県有数の米どころ横手市平鹿町に酒蔵を構えて100余年。奥羽山脈に端を発する川の湧水を仕込み水とし、蔵から半径5km以内の地で栽培された減農薬・減化学肥料栽培の酒米だけを使った純米酒の生産を行う浅舞酒造株式会社。

これまで同社の日本酒は全国新酒鑑評会などで高い評価を受けてきたが、平成28年には世界最大の酒類審査会「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」の純米大吟醸部門で同社の看板酒「天の戸 純米大吟醸 35」がもっとも優れた銘柄に贈られるトロフィー賞を受賞。これを足がかりにアメリカ、カナダ、ドバイ、シンガポール、中国、韓国などへの輸出が増大した。平成30年には中国の北京に同社の銘柄だけを扱う日本酒専門店がオープンするなど、中国市場も有望な販路として期待できる展開を見せている。

現在、売り上げの9割が国内向けで、約1割が輸出だが、国内の日本酒の消費量が減少傾向にあるなか、海外への販路拡大を視野に入れて新たな可能性を見出そうとしている。

支援

高品質・安全安心を示す認証で 海外での販売促進を展開

今後、さらなる海外展開を目指して、同社はコーシャ認証を申請に挑戦した。コーシャ認証とは、ユダヤ教の戒律に適合した食品（コーシャフード）であることを認定する制度で、欧米では宗教に関係なく、高品質で安心安全な食品を選ぶ目安にもなっているという。その情報が経営者の親戚から寄せられたのがきっかけで、取得に向けて検討が始まった。

認証取得にあたっては、製造工程や原材料情報の開示、抜き打ち検査など厳しい審査をクリアする必要がある。日本酒の場合、戒律に適合しない食材が混入しないよう原料の仕入れ先や水の管理、酵母の培養方法など複数の条件があり、取得は容易ではないが、認証料は比較的低廉であり、費用対効果がよいと判断した。申請後、認定機関の担当者が蔵を訪れて細かな審査を実施した結果、海外で販売する16銘柄がコーシャ認証を取得した。全国に1200社以上の酒蔵があるが、このコーシャ認証を得た事業所は、秋田県では当社が認証第1号となっている。

これまで、よこて市商工会では、経営の方向性の検証や、



浅舞酒造の店舗

労務・共済、金融支援などについてアドバイスを行ってきた。海外戦略については、秋田県商工会連合会と同商工会を通じて、販路拡大や新商品開発のための専門家派遣、海外輸出のためのJETROの招聘などの支援を行ってきたことが、認証取得への一助になった。

コーシャ認証取得の効果ははっきり数字に表れ、取得前年比で11%の売り上げ増を記録。今後、海外向けの割合を2割にまで引き上げたい考えだ。地元産の材料にこだわった酒づくりを続け、コーシャフードの認知度の高い海外での販売促進に積極的に取り組み、さらなる業績向上につなげていく。

支援の経過

期間	支援内容
H23年1月	蔵開き「天の戸まつり」実施支援
6月	カナダ輸出に関するJETRO職員招聘
H25年3月	消費税専門家派遣・原材料高騰対策
H26年5月	エキスパート専門家派遣による支援
H29年12月	福利厚生のための労務管理支援

会社概要

会社名：浅舞酒造株式会社
 住所：秋田県横手市平鹿町浅舞字浅舞388
 電話番号：0182-24-1030
 URL：http://amanoto.co.jp/
 代表者名：柿崎常樹
 創業年：大正6年
 年間売上高：3億1908万円（平成29年）
 従業員数：10名
 商工会名・担当者名：よこて市商工会・岩沢正利